



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
 コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	11,313	12.0	1,155	55.7	1,582	111.7	963	107.8
2020年8月期第3四半期	10,096	22.1	742	71.5	747	69.5	463	81.9

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 961百万円 (112.3%) 2020年8月期第3四半期 452百万円 (77.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	69.82	69.18
2020年8月期第3四半期	33.67	33.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	8,611	4,331	50.2
2020年8月期	7,342	3,429	46.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 4,327百万円 2020年8月期 3,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	4.60	4.60
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	5.60	5.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,020	9.1	1,370	20.8	1,650	41.6	957	46.3	69.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	13,834,800株	2020年8月期	13,767,200株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	84株	2020年8月期	62株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	13,800,333株	2020年8月期3Q	13,767,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外において新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況が続きました。足元では緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行した地域もあり、ワクチン接種も進み始めていることから、景気の持ち直しが期待されるものの、依然として先行不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、柔軟な労働環境を提供できるリモート環境構築に伴うツールの普及、業務効率化、情報セキュリティ対策などを目的としたIT投資が堅調に推移いたしました。

当面は不透明感が残るものの、行政のデジタル化推進や、業務プロセスのデジタル化の刷新など「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の取組みがさらに広がりをみせており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性がさらに増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、一次産業の「デジタルトランスフォーメーション (DX)」化の実現を目指す「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大にもなお一層注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの売上高は11,313,064千円（前年同期比12.0%増）、営業利益は1,155,928千円（前年同期比55.7%増）、経常利益は1,582,995千円（前年同期比111.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は963,508千円（前年同期比107.8%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、「システムの開発および運用」「ITインフラの設計構築」「プロジェクトマネジメント」等の領域で引き続き順調に案件獲得が見込めることから、人材の採用及び育成に注力するとともに、ビジネスパートナー各社との連携強化による外部リソース活用の拡大に積極的に取り組みました。

さらに未経験エンジニアの即戦力化を可能とする「現場環境を完全再現した実機研修プロジェクトルーム」を開設し運用が始まりました。今後は若手から中堅、そしてリーダーまで幅広い先端技術の習得にも活用してまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は8,048,852千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は815,815千円（前年同期比22.4%増）となりました。

② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、Salesforceの定着化支援を軸としたカスタマーサクセス事業、RPAによる業務の効率化、ITの活用で儲かる農業を実現する「みどりクラウド」等の先端技術を用いたサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、それぞれの技術領域におけるニーズの継続的な拡大により、売上は堅調に推移いたしました。

カスタマーサクセス事業では、従来のSalesforceの定着化支援を大きく伸ばすとともに、BtoB向けマーケティングツールであるPardotや分析プラットフォームTableauも含めた複合的な定着化支援ニーズへの対応を進めました。併せてNTTデータ社との協業による本サービス拡大への取組みを開始しました。

農業向けサービスにおいては、農業・畜産関連事業者、自治体などに対して「みどりクラウド」「ファームクラウド」を用いた農業・畜産のDX化を積極的に提案することで、受注の積み上げを図りました。また、2021年4月に採択された農林水産省「革新的営農支援モデル開発」事業によって、みどりクラウドが有する資産の価値拡大に取り組んでいます。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,920,599千円（前年同期比65.6%増）、セグメント利益は305,858千円（前年同期比166.9%増）となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピースエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う市況の影響はあるものの、徐々にニーズの回復がみられ、稼働率が向上したことから売上は堅調に推移いたしました。引き続き、案件の獲得が期待されることから、企業規模拡大に向け積極的に採用及び育成に取り組んでまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は348,523千円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は35,179千円（前年同期はセグメント損失32,791千円）となりました。

④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う市況の悪化が続いていることから、当社グループにおける、今後の事業の在り方について見直しを行う取り組みを進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,835千円（前年同期比89.8%減）、セグメント損失は925千円（前年同期はセグメント損失5,701千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,269,552千円増加し8,611,925千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が130,549千円、流動資産「その他」が30,146千円減少したものの、現金及び預金が1,157,387千円、繰延税金資産が96,344千円、投資その他の資産「その他」が85,126千円、仕掛品が46,845千円、建物（純額）が33,854千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ368,169千円増加し4,280,811千円となりました。これは主に、賞与引当金が260,897千円、長期借入金が249,995千円、未払消費税等が222,491千円減少したものの、未払金が804,732千円、1年内返済予定の長期借入金が160,000千円、未払法人税等が129,195千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ901,383千円増加し4,331,113千円となりました。これは主に、利益剰余金が900,183千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月15日の「2020年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,329,351	5,486,738
受取手形及び売掛金	1,826,711	1,696,161
仕掛品	19,453	66,298
原材料	36,816	58,984
その他	107,482	77,335
貸倒引当金	△4,124	△2,564
流動資産合計	6,315,690	7,382,954
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	111,892	145,746
工具、器具及び備品(純額)	22,794	33,121
その他	0	2,782
有形固定資産合計	134,686	181,649
無形固定資産		
のれん	25,093	18,249
ソフトウェア	8,692	5,488
その他	1,844	1,758
無形固定資産合計	35,630	25,496
投資その他の資産		
投資有価証券	132,702	121,061
繰延税金資産	383,832	480,176
敷金及び保証金	214,613	210,242
その他	125,216	210,343
投資その他の資産合計	856,364	1,021,823
固定資産合計	1,026,681	1,228,970
資産合計	7,342,372	8,611,925
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,323	86,568
1年内返済予定の長期借入金	106,660	266,660
未払金	924,007	1,728,740
未払法人税等	369,631	498,827
未払消費税等	504,583	282,091
賞与引当金	639,927	379,029
その他	170,966	153,098
流動負債合計	2,773,098	3,395,016
固定負債		
長期借入金	1,005,570	755,575
退職給付に係る負債	133,900	127,865
その他	72	2,354
固定負債合計	1,139,542	885,794
負債合計	3,912,641	4,280,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,974	299,495
資本剰余金	495,724	497,245
利益剰余金	2,628,218	3,528,401
自己株式	△62	△98
株主資本合計	3,421,855	4,325,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	1,137
退職給付に係る調整累計額	3,647	911
その他の包括利益累計額合計	3,712	2,048
新株予約権	4,162	4,021
純資産合計	3,429,730	4,331,113
負債純資産合計	7,342,372	8,611,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	10,096,933	11,313,064
売上原価	7,696,226	8,512,739
売上総利益	2,400,706	2,800,324
販売費及び一般管理費	1,658,259	1,644,396
営業利益	742,447	1,155,928
営業外収益		
受取利息	1,624	1,199
助成金収入	4,000	417,812
受取補償金	149	—
その他	1,076	11,151
営業外収益合計	6,850	430,162
営業外費用		
支払利息	1,228	3,094
雑損失	249	1
営業外費用合計	1,477	3,096
経常利益	747,820	1,582,995
特別利益		
新株予約権戻入益	233	141
特別利益合計	233	141
特別損失		
固定資産除却損	—	571
投資有価証券評価損	—	13,185
特別損失合計	—	13,757
税金等調整前四半期純利益	748,053	1,569,379
法人税、住民税及び事業税	410,964	701,480
法人税等調整額	△126,544	△95,609
法人税等合計	284,419	605,871
四半期純利益	463,633	963,508
親会社株主に帰属する四半期純利益	463,633	963,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	463,633	963,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,012	1,071
退職給付に係る調整額	2,369	△2,735
その他の包括利益合計	△10,643	△1,663
四半期包括利益	452,990	961,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,990	961,844

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した「新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更は現在ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,015,842	1,764,163	307,250	10,087,255	9,677	10,096,933	—	10,096,933
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	8,415	8,415	18,242	26,658	△26,658	—
計	8,015,842	1,764,163	315,666	10,095,671	27,920	10,123,592	△26,658	10,096,933
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	666,335	114,604	△32,791	748,149	△5,701	742,447	—	742,447

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△26,658千円が含まれております。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,048,852	2,920,599	341,576	11,311,028	2,035	11,313,064	—	11,313,064
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	6,947	6,947	800	7,747	△7,747	—
計	8,048,852	2,920,599	348,523	11,317,975	2,835	11,320,811	△7,747	11,313,064
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	815,815	305,858	35,179	1,156,853	△925	1,155,928	—	1,155,928

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△7,747千円が含まれております。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。